

問1	北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷について、その発生と移動の背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2026年 愛知県公立入試 類似）			
	1. シベリアからの強い寒気によって凍った海水が、風や海流の影響を受けて南下し、北海道の沿岸に到達する。	2. アラスカ沿岸で発達した流氷が、偏西風の影響を受けて東から西へと移動し、北海道の知床半島周辺に漂着する。	3. 日本海側の対馬海流が強い寒気で冷やされることで氷が発生し、北西の季節風によって北海道の北部に押し寄せられる。	4. 北極海から流れ出した巨大な氷の塊が、親潮（千島海流）に乗って南下し、北海道の太平洋側に接岸する。
問2	明治時代、ロシアなど北方からの脅威に備える警備と、北海道の土地の開拓を同時に行う目的で送り込まれた兵士とその家族を何と呼びますか。（2016年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 守護代	2. 屯田兵	3. 防人	4. 開拓使
問3	北海道の倶知安町や二セコ町における外国人宿泊客数の統計では、1 2月から3月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため	2. 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため	3. 流氷を観察するための砕氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため	4. 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため
問4	北海道東部の太平洋沿岸地域において、夏の気候に大きな影響を与える「海霧」の要因となる、海流の名称と季節風の向きの組み合わせとして正しいものはどれか。（2024年 石川県公立入試 類似）			
	1. 対馬海流と南東の季節風	2. 親潮（千島海流）と南東の季節風	3. 親潮（千島海流）と北東の季節風	4. 黒潮（日本海流）と北西の季節風
問5	北海道二セコ町の月別外国人宿泊者数は12月から3月にかけて突出して多く、産業別の就業者数割合では飲食業・宿泊業が17.8%で最も高い数値を示しています。これらのデータから読み取れる地域の特徴として、最も適切な記述を選びなさい。（2026年 岩手県公立入試 類似）			
	1. 全国の平均と比較して製造業の就業者割合が極めて高く、外国人観光客は年間を通じて均等に宿泊している。	2. ウィンタースポーツを目的とした外国人観光客の増加に伴い、飲食・宿泊関連の産業が町の中心的な雇用を生み出している。	3. 夏季の観光需要の高まりに合わせて外国人観光客が集まるため、年間を通じて農業の就業者数が最も多い。	4. 外国人観光客の宿泊が夏場に集中しているため、冬場は観光関連産業の就業者が減少し農業へ移行している。
問6	日本の酪農において、北海道は大消費地から離れているという地理的条件に対応するため、生産された生乳の多くをある形態に変化させて出荷しています。この形態と、その主な製品の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2016年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 地場消費用 ― ヨーグルトや生クリーム	2. 輸出用 ― 脱脂粉乳や練乳	3. 飲用 ― 牛乳やコーヒー牛乳	4. 加工用 ― バターやチーズ
問7	日本の各地域の農業を比較した統計において、北海道は農業従事者一人あたりの農業産出額が約1570万円となっており、他地域の平均である約310万円と比べて極めて高い数値を示しています。このような北海道の農業を支える背景として最も適切なものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）			
	1. 都心に近い立地を活かし、限られた土地に多くの労働力を投入して単位面積あたりの収益を上げる集約的な農業を行っている。	2. 気候が温暖であることを利用し、ビニールハウスなどの施設を用いて他の地域より出荷時期を早める促成栽培が主流である。	3. 傾斜地の多い地形を活かして段々畑を作り、果樹などの高付加価値な作物を少人数で栽培している。	4. 農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広く、大型の機械を導入することで生産性を高めている。
問8	北海道の泥炭地における土地改良の取り組みについて、不毛な湿地を農地に変えるために「排水施設の整備」と共に行われた、他の場所から新しい土を運び入れる作業の名称を選びなさい。（2025年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 客土	2. 干拓	3. 減反	4. 輪作
問9	二セコ町や倶知安町が進める「二セコモデル」において、外国人宿泊客の急増に伴う課題を解決するために、特に重視されている取り組みの内容として正しいものはどれですか。（2025年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 公共交通機関と宿泊施設を結ぶ二次交通の利便性向上と、官民連携による環境整備	2. 国内の修学旅行生を優先的に受け入れるための、外国人客向けの宿泊料金の引き上げ	3. 冬季の観光客を分散させるため、冬のスキー場を閉鎖して通年型の農業体験へ転換すること	4. 地元の農産物を輸出するために、観光客の移動手段を制限して物流網を優先すること
問10	北海道のある都市の気候統計において、年平均気温が約8.9度、年降水量が約1106.5mmであり、特に12月や1月の降水量が比較的多いというデータが見られました。この都市が位置する場所として最も適切な条件はどれですか。（2018年 長野県公立入試 類似）			
	1. 北海道の東側に位置し、親潮（寒流）の影響を強く受ける地域	2. オホーツク海に面し、冬には流氷が押し寄せる地域	3. 北海道の中央部に位置し、海から離れた盆地状の地域	4. 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域
問11	日本の農業の状況を分析した資料において、農業就業者一人あたりの耕地面積が他の地方に比べて極めて大きく、かつ地方別の米の生産量割合において国内最大のシェアを占めている地方はどこですか。（2016年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 東北地方	2. 近畿地方	3. 九州地方	4. 北海道
問12	北海道の石狩平野では、かつて稲作に適さない水分を多く含んだ泥炭地が広がっていました。この土地を農地に変えるために、他の場所から性質の異なる土を運び入れ、もとの土と混ぜ合わせて土壌を改良する方法が行われました。この技術の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2024年 福島県公立入試 類似）			
	1. 干拓	2. 開拓	3. 輪作	4. 客土

答え合わせ・解説

問1	答え 1 シベリアからの強い寒気によって凍った海水が、風や海流の影響を受けて南下し、北海道の沿岸に到達する。	流氷の形成には、シベリア大陸から吹き付ける非常に冷たい空気が不可欠です。この寒気によってオホーツク海の塩分濃度が低い表面層が凍り、それが北西の季節風や海流によって南へ運ばれることで、北海道の北東沿岸にたどり着くという仕組みになっています。
問2	答え 2 屯田兵	明治政府は、ロシアの南下政策に対する国防上の必要性と、広大な未開地の開発を両立させるため、1874年に屯田兵制度を設けました。主に土族（元武士）が家族とともに北海道へ渡り、厳しい自然環境の中で現在の札幌や旭川といった地域の発展の基礎を築きました。
問3	答え 1 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため	ニセコ周辺は「パウダースノー」と呼ばれる質の高い雪が海外で高く評価されており、オーストラリアを中心とした海外からの観光客が冬のレジャーを目的に集中的に訪れます。統計データにおいて冬季の宿泊客が突出しているのは、この季節的なアクティビティが観光需要の核心となっているためです。
問4	答え 2 親潮（千島海流）と南東の季節風	北海道東部の太平洋沿岸では、夏に南東から湿った空気が流れ込みますが、この空気が千島列島付近から南下してくる寒流の「親潮（千島海流）」の影響を受けることで冷やされ、濃い霧が発生します。この現象は、この地域の夏の気温が上がりにくい一因ともなっており、農作物の生育に影響を与える「冷害」の原因になることもあります。
問5	答え 2 ウインタースポーツを目的とした外国人観光客の増加に伴い、飲食・宿泊関連の産業が町の中心的な雇用を生み出している。	ニセコ町では、12月から3月という冬の時期に外国人宿泊者数が突出して多くなっています。これは良質な雪を求めて訪れるスキー客などの影響であり、それに伴って飲食業や宿泊業の就業者割合が最も高い水準となっています。
問6	答え 4 加工用 ― バターやチーズ	北海道で生産される生乳の約84%は、バターやチーズなどの原料となる「加工用」として利用されています。これは生乳のままでは長距離輸送の間に品質が低下してしまうため、保存性を高めた乳製品に加工する必要があるからです。対して、都市に近い産地では、ほぼすべての生乳が「飲用」としてそのまま出荷される傾向にあります。
問7	答え 4 農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広く、大型の機械を導入することで生産性を高めている。	北海道の農業は、明治時代以降の開拓の歴史を背景に、他都府県と比較して一戸あたりの経営規模が非常に大きいのが特徴です。広大な耕地を効率よく管理するため、大型のトラクターやコンバインなどの機械化が進んでおり、その結果として、農業従事者一人あたりの生産額が他地域を大きく上回る大規模経営が実現しています。
問8	答え 1 客土	泥炭地は植物の遺骸が腐敗しきらずに堆積した土地で、水分が非常に多く農業に適しません。この土地に別の場所から良好な土を運び込んで層を作ることを「客土（かくど）」と呼びます。この作業によって土地の質を改善し、排水施設で水分を除くことで、ジャガイモやテンサイなどの畑作や、牧草地としての利用が可能になりました。
問9	答え 1 公共交通機関と宿泊施設を結ぶ二次交通の利便性向上と、官民連携による環境整備	特定の季節に外国人客が集中すると、移動手段の不足や言語の壁といった課題が生じます。これに対し、タクシーやバスなどの「二次交通」を柔軟に運用し、民間企業と自治体が役割を分担して観光客の受け入れ体制を整えることが、ニセコモデルの本質的な取り組みです。
問10	答え 4 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域	北海道の日本海側に位置する都市（札幌など）は、対馬海流（暖流）の影響を受けるため、冬に北西の季節風によってもたらされる雪の影響で、12月や1月の降水量が多くなります。年平均気温が9度前後、降水量が1100mm程度という数値は、北海道の中でも比較的温暖で、冬の降雪が顕著な西岸地域の典型的な特徴を示しています。
問11	答え 4 北海道	広大な石狩平野などを中心に、かつての開拓によって整備された一区画あたりの面積が広い農地が広がっています。このため、大型機械を活用した効率的な大規模農業が展開されており、一人あたりの経営規模が非常に大きいのが特徴です。また、かつては寒冷地での栽培は困難とされていましたが、品種改良の進展により、現在では地方別で見た米の生産量でも全国トップクラスのシェアを誇っています。
問12	答え 4 客土	石狩平野などの低湿地には、枯れた植物が腐敗せずに堆積した「泥炭地」が多く分布しており、そのままでは水はけが悪く養分も乏しいため、稲作には向きませんでした。そこで、別の場所から肥沃な土や砂を運んでくる「客土（きゃくど）」という技術が大規模に行われました。これにより土壌の質が向上し、現在のような大規模な稲作地帯へと発展した歴史があります。選択肢にある「干拓」は海や湖を陸地にする、と、「輪作」は同じ土地で異なる種類の作物を交互に栽培することを指します。